

◆論文発表◆

(*は、財団研究員)

石橋智昭*「介護サービスの質の評価;国家プロジェクトLIFEへの期待と不安」応用老年学, 15(1), 4-11, 2021.

森下久美*・渡辺修一郎*・長田久雄「シルバー人材センター会員における屋外作業時の疲労対処行動:運動機能と認知機能の類型による比較」日本公衆衛生雑誌, 68(8), 564-571, 2021.

森下久美*・松山玲子・渡辺修一郎*・中村桃美*・石橋智昭*「シルバー人材センターにおける重篤事故の発生状況:10年間の全国データによる検討」労働科学,96(5/6),51-60,2021.

◆書籍執筆など◆

澤岡詩野(一部執筆)

- 『保健福祉職のための「まち」の健康づくり入門;地域協働によるソーシャル・キャピタルの育て方・活用法』ミネルヴァ書房(藤原佳典監修、倉岡正高・石川貴美子編著、2021年8月)

◆講演など◆

石橋智昭:

- ①医療法人鉄蕉会亀田総合病院及び千葉県立長狭高等学校にて「介護職員初任者研修」の講義として「職務の理解」「介護保険制度」を担当(6/22-23)
- ②(公財)東京しごと財団主催「令和3年度第1回シルバー人材センター会長会議」にて「シルバー人材センター事業に役立つ「老年学」のススメ」をリモートで講演(7/5)。都内30センターが視聴し、その後7/18までYouTubeにて録画が限定配信

澤岡詩野:

- ①「人生100年時代の豊かさとはICT『でも』つながること」なかの生涯学習大学(6/3、於:なかのゼロホール)
- ②「コロナ禍の強さとはつながりを『置き換える力』」第32回日本老年学会総会合同シンポジウム13「ウィズ・アフターコロナ時代の高齢社会の展望」(6/13、オンライン)
- ③「コミュニティデザインの第1歩は『自分ゴト』で考えること」東海大学健康学部(6/24、オンライン)
- ④「高齢者のICT活用～コロナ禍を超えて～」シニア社会学会第20回大会で基調講演(6/27、オンライン)
- ⑤「あなたのサロンを地域の居場所としていくためには?」横浜市鶴見区東寺尾地域ケアプラザ主催地域サロン連絡会(6/30、於:東寺尾地域ケアプラザ)
- ⑥「改めて考えよう「通いの場」という活動の意味」保土ヶ谷区介護予防支援者研修(7/7、於:保土ヶ谷公会堂)
- ⑦「10年後の地域を見据えてオンライン活用の可能性を考える」令和3年度区市町村介護予防事業担当者向け研修 実践編Ⅱ第二回(7/12、於:西新宿会議室)
- ⑧「コロナ禍だからこそ改めて考える「通い続けられる場」と「自主運営」」横浜市健康福祉局元気作りステーション

事業連絡会(7/14、於:横浜市役所)

- ⑨「コロナ禍だから改めて考える「友愛活動」の意味」神奈川県シニアクラブ友愛活動研修(7/15、於:かなっくホール)
- ⑩「こんな時だから!のつながりづくり 今できることを一緒に考えよう!」栄区豊田地域サロン連絡会(7/20、於:豊田地域ケアプラザ)
- ⑪「今からできる人生を豊かにする“タネマキ”とは?」江戸川総合人生大学公開講座(7/26、於:しのぎ文化プラザ)
- ⑫「今だから考えよう、人生を豊かにするつながりとは?」かがわ長寿大学特別講義で講演(7/27、オンライン)
- ⑬「紡いできた“つながり”はチカラ～紡ぎ続けるためにできることをかんがえよう～」戸塚区介護予防講演会(7/29、於:戸塚公会堂)
- ⑭「オンラインでもつながる意義」横浜市緑区役所主催ICT連絡会議(7/29、於:緑区役所)
- ⑮「健康的なつながりを考える～「豊かさ」とはなんだろう?～」篠原式セカンドライフ講座(8/7、8/8、於:篠原地域ケアプラザ(横浜市))
- ⑯「10年後の地域をイメージしながらオンライン活用を考える」保土ヶ谷区地域交流コーディネーター研修(8/11、於:保土ヶ谷区社会福祉協議会)
- ⑰「今だから改めて考えよう 地域とつながる、つなげる意味」柏市社会福祉協議会主催 通いの場及びサロン団体研修会(9/7、於:オンライン)
- ⑱「コロナ禍でも歩みを止めないための手法～つながりを紡ぎ続けるために～」横浜市栄区包括連絡会(9/7、於:栄区役所)
- ⑲「今だからあらためて考えよう地域活動・住民活動とは:地域リーダーの役割」杉並区すぎなみ地域大学(9/10、於:杉並区役所)
- ⑳「『10年後の地域を見据えてタネをまこう』の意味とは?」横浜市緑区ICT活用連絡会(9/14、於:緑区役所)
- ㉑「コロナ禍の地域の変化からボランティアを考える」都筑区社会福祉協議会主催 第1回ボランティア交流会(9/15、於:都筑区社会福祉協議会)
- ㉒「今だから改めて考える、あなたの人生を豊かにする『ゆるやかなつながり』とは?」町田市民大学人間関係学講座(9/15、於:町田文学館)
- ㉓「高齢期のこころの健康:コロナ禍から学ぶ「強さ」とは?」横浜市青葉区すすき野地域ケアプラザ主催ポジティブエイジング講座(9/24、於:すすき野地域ケアプラザ)
- ㉔「あなたの想いを共感に 共感をチカラに変えるには?」横浜市青葉区セカンドキャリア地域起業セミナー(9/25、オンライン)
- ㉕「今だから改めて考えよう!居場所としての『サロン』の意味」泉区岡津地域ケアプラザ主催サロン交流会(9/30、於:岡津地域ケアプラザ)

安順姫・岩田明子：

- ・「シニアのためのハッピーセミナー：ストレスに負けない心のトレーニング方法」相模原市光が丘高齢者支援センター（地域包括支援センター）主催の地域介護予防教室（6/28、於：相模原市光が丘ふれあいセンター）

安順姫：

- ・「高齢期におけるこころの健康：より幸せな日々を過ごすコツを学びましょう」八王子市高齢者あんしん相談センター石川主催の講座（9/25、於：アビリティーズケアネット八王子営業所）

◆寄稿・取材記事ほか◆

上原桃美：

- ・草加市シルバー人材センター「就業通信」；「健康診断よりも身近にできる健康管理のススメ①～健康生活アンケート実施のお知らせ～」（8月）、「健康診断よりも身近にできる健康管理のススメ②～健康生活アンケートでわかる生活の質(QOL)～」（9月）

森義博：

- ①(株)セールス手帖社保険FPS研究所「LA情報」；「ライフプランの中での離婚 — [3] 離婚の自由と条件(6月)、[4] 婚姻費用、慰謝料、養育費(7月)、[5] 財産分与、年金分割制度(8月)」、「ライフプランの長さ — [前] 平均寿命(9月)、[後] 生存確率からのアプローチ(10月)」
- ②日本FP協会『FPジャーナル』8月号誌上講座(科目：ライフプランニング・リタイアメントプランニング)「ライフプランの中での『離婚』」(8月)

◆その他◆

【ダイヤル更新】「社会老年学文献データベース(DiaL)」の第39回更新(新規登録384件)を完了(6/10)。登録論文総数は12,651件です。

【ダイアレポート】当財団の2020年度の研究・活動実績、組織や財務の状況等をご報告する「Diaレポート2020」を7月に発行し、財団ホームページにも公開。

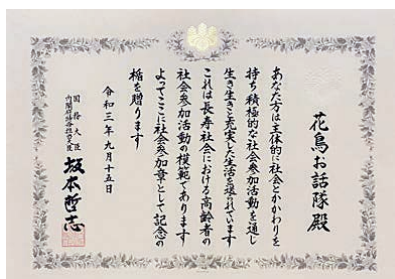
<お知らせ>

内閣府の広報・啓発活動として実施されている「エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例の募集と紹介」(※1)における令和3年度の選考結果(※2)が9月2日に公表されました。

その中に、当財団とゆかりの深い団体である花鳥お話隊(かちょうおはなしたい)とダイヤビックひばり会が選考されましたことを、お知らせいたします。

花鳥お話隊

おもに常磐線沿線に居住する高齢者の自主活動グループである「ダイヤ常磐」の会員有志により結成されたグループで、高齢者施設へのボランティア慰問活動を実施しています。平成21年(2009年)に活動を開始し、現在までに計66回の慰問を実施しており、施設の慰問時には、ストレッチ体操、花に関するクイズ、合唱、鳥の生態や名前についてのお話等を織り交ぜて披露し、どの高齢者施設からも温かく迎えていただいています。

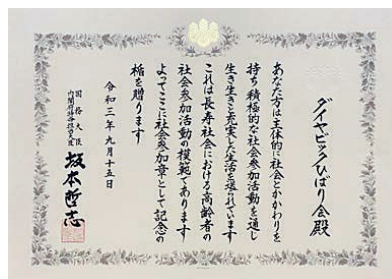


社会参加章と記念の楯
(花鳥お話隊)



ダイヤビックひばり会

「ダイヤビック」というシニア向けエアロビックのシニアインストラクターの自主活動組織で、「インストラクター養成講座」を修了後に入会した会員(シニアインストラクター)間の交流を目的とした研修会の開催や機関紙を発行し、「ダイヤビック教室」の自主開催を支援することに加え、自治体などの各種イベントにも積極的にインストラクターを派遣しています。これらの活動により、「ダイヤビック」が高齢者の介護予防につながるプログラム又は知的障がい者向けプログラムとして、複数の自治体から期待・注目され、現在、2つの施設において継続的に「ダイヤビック教室」が開催されています。



社会参加章と記念の楯
(ダイヤビックひばり会)



※1 内閣府は、エイジレス・ライフを実践している高齢者の事例(エイジレス・ライフ実践事例)、及び地域で社会参加活動を積極的に行っている高齢者のグループ等の事例(社会参加活動事例)を、高齢期及びこれから高齢期を迎える国民の参考としてもらうために、広く募集し紹介しています。

※2 都道府県等及び高齢者関連団体から推薦のあったエイジレス・ライフを実践する65名、社会参加活動を行う45団体の中から、選考委員会において、エイジレス・ライフ実践事例(個人)50名、社会参加活動事例(グループ等)36団体が選考されました。